

第1回 「南インドを識る」 セミナー



「アジアにおける関わりの多様化に対応した
市民研究プログラムの構築」プロジェクト主催
(助成:トヨタ財団イニシアティブプログラム)

環境と生業:タミルナードゥ州における 農業的土地利用の100年

発表者:佐藤孝宏

(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科客員准教授、
人間文化研究機構地域研究推進センター研究員)

発表者プロフィール:2006年末より、南インド・タミルナードゥの農村で、農業的土地利用の変化が農村の暮らしに与える影響について研究。シリア・アレッポ郊外、フィリピン・ルソン島、ベトナム・メコンデルタなどでも農村調査の経験がある。

日時:2016年1月30日(土)15:30-17:30

場所:京都大学吉田キャンパス本部構内
総合研究2号館4階 Conference Room

- ※土曜日のため建物入口は一部施錠されております。
施錠されていない西入口よりお入りいただき、南EVにて会場にお越しください。
- ※どなたでもご参加いただけますが、資料準備の都合上、下記連絡先へ事前にご連絡をいただけますと幸いです。

吉田キャンパス本部構内図



連絡先:藤倉哲郎(アジア農村研究会* 総務担当)
rsj39541@nifty.com



* アジア農村研究会は、アジアを対象とした地域研究の実習のために1992年に結成された大学院生や若手研究者が主体の研究会組織です。
参考『学生のためのフィールドワーク入門』(めこん2005年)

写真提供:佐藤孝宏さん